

福音の園だより

平成十八年度「高齢者雇用優良事業所協会会長賞」受賞
TDSラジオ『メイのいきいきモーニング』取材紹介施設

グループホーム・デイサービス介護保険事業者指定
350・0019 埼玉県川越市木野目一八七八番地一
特定非営利活動法人 福音の園・埼玉 事務局
☎049・230・1111(FAX230・1112)

ご利用者成年後見人の声

ご利用者の気持ちを代弁する大切な役割

初めて福音の園を訪れてKさんにお会いしたのが今年
の4月、それから4ヶ月が経ちました。Kさんとの最初
の出会いにはKさんがまだ地域で暮らしていた6年前にな
ります。その頃はなんとか民生委員さんや近所の人の助
けを借りて生活されていましたが、だんだん介護サービ
スや金銭管理のサポートを受けなければ生活できなくな
り、友人からの虐待もあったため、保護のような形で福
音の園へ入所されました。成年後見人を受任して、久し
振りにお会いしたKさんの顔は生き生きとしており、と
てもお元気そうだったことが印象的です。グループホー
ムで安定した生活を送られていたことがうかがえました。
成年後見人は家族の代わりにはなれませんが、金銭管理
や書類・契約を代わりするだけでなく、ご本人の
気持ちを代弁するという大切な役割を担って
います。これからKさんがどのような生活
を送っていききたいのか、ご本人が言葉で
表わせない部分をくみ取り、支援していければと
思っています。 K様成年後見人 社会福祉士(匿名)



川越市社会福祉審議会委員 拝命に寄せて

市民の福祉向上に情熱を注ぎたい

グループホーム 福音の園・川越 ホーム長 杉澤 卓巳
昨年暮れ、『広報川越 十二月二十五日号』で「川越市
社会福祉審議会委員を公募」を発見。「任期・二年間 定
員・4人 選考方法・書類選考及び小論文審査」「川越
市の福祉施策の推進に関する意見または考え」につい
ての小論文を添えて市役所福祉推進課へ提出とあり、
早速応募準備を始めた。折りしも本紙一月号に「新年
年頭にあたり」と題して、『介護の質』とは介護者
「職業倫理」の質」という一文を掲載していた。これ
を一部引用しながら、次のように仕上げて応募した。

「介護の質」とは介護者(事業者)「職業倫理」の質で
あると、高齢者福祉現場において二十年目を迎えて痛感
している。今年を表わす漢字。一昨年は「偽」、昨年は「変」
だった。昨年、NHKは職員によるインサイダー取引等
繰り返される不祥事から信用失墜。構造改革委員会を立
ち上げて誕生させた遵守項目の一つが『倫理行動憲章』
だった。この事例からも、各職域において従事する者の
行動を基礎付ける文言(もんごん)が必須であるという
ことを物語っている。

私たちの高齢者福祉事業所において、介護サービスは
ご利用者のプライバシーを守るため、人目に触れない形
で提供されるという特性を持っている。ご利用者とご家
族が安心して質の高いケアサービスを受けられることが
保証されなければならない。ご利用者の利益を守ることが
を第一に考え、自らの行動の規範となる文言が、私たち
の職域においては『グループホーム倫理綱領』である。

毎年十月(開園記念月)の「スタッフ研修・会議」にお
いて、全職員で『グループホーム倫理綱領』を斉唱して

いる。「第一回サービス外部評価調査」を実施した四年前
「調査報告書」まとめ段階で、外部サービス評価センタ
ー責任者とお会いした。その折、本来なら職務上口外さ
れないであろう「県内のグループホームで『グループホ
ーム倫理綱領』を利用者家族に提示・配布しているのは、
福音の園・川越さんだけでした。」という寸評をいただい
た。『いい顔が推薦状なら、いい心は信用状』と格言は言
う。介護サービス事業者として「ビッグスマイル」を忘
れない「いい顔」も大事だが、「職業倫理」に基づいた「い
い心」を欠いては、ご利用者・ご家族の心はつかめない
し、事業発展も望めないだろう。祈り。

三月三日付通知され、平成21・22年度川越市社会
福祉審議会 公募委員に選出された。

GHIの課題―「家庭的密室」からの脱却

グループホームは小規模であるが故に「密室の介護
(家庭的密室)」とも呼ばれ、一歩間違えば「放置」や「虐
待」につながりやすく、介護スタッフやサービスの質が
厳しく問われている(注・岡山県下のグループホームで
事業者指定取り消し処分事例)。地域密着型サービス事
業者には広く開かれた運営が求められることから、当
園では毎年『ボランティア体験プログラム』(川越市社
会福祉協議会主催) 受け入れ施設として参加してきた。

二〇〇九年第十四回参加メニュー一覧を見てびっくり
した。一〇施設ある市内グループホームからの参加は
当園だけだった(注・坂戸市社協主催の同プログラムでは
同市内の三グループホームが参加)。昨年(2008年)
参加した一人は十一月から勤務(非常勤採用)し、家事
手伝いのNさん(23才・南田島在住)は今も毎週月曜・金
曜日の午前中、ボランティア下さっている。感謝。

御礼

端唄の会 端唄 葵の会様(川越市)
舞踊の会 藤央華仙一門様(川越市)